

### 東京都大会優秀賞 「大切なこと」

勝又詩穂さん(四谷中学校3年)

私には、6歳離れた兄がいます。カラオケと電車が大好きな兄です。私には敵わない程の記憶力をもっています。これだけの情報だと、普通の21歳の青年を想像すると思います。想像と現実の違いは、兄は知的障害者であるということです。

小さいときから、私は兄が嫌いでした。兄が私に対して何か言ったりとか、やったりとかという理由ではありません。ただただ嫌でした。

兄と外出すると、奇異の目で兄を見る人が大勢います。歩いていてすれ違ったとき相手の兄を見る目がとても嫌です。珍しい物を見るような、中には凝視する人もいます。兄を見下したような、中には汚い物を見るような視線です。あるいは、とても可哀そうな哀れな物を見るかのような視線もあります。そんな視線を受けても、まったく気がつかない兄に対して怒りすら覚えました。電車に乗ったとき、兄が空いている座席に座ると両隣の人がずっと席を立ってしまい、混んでいる電車の車内で兄の座っている両隣がポツカリと空いているということがありました。外出するたびにこんなことばかりで、すべての原因は兄だと思っていました。こんな兄がいるから、いつも私が嫌な思いをし、恥ずかしい気持ちになるんだと決めつけていました。だから、兄を理由などお構いなしに嫌いになり、他人のような態度を取り、睨みつけていました。

ある日、バスの中で幼稚園生くらいの男の子が振り返ったまま兄を凝視し始めました。いつものことでしたが、そのときはその子どもの母親らしき人がちらっと兄を見て、その子どもの態度に何の関心も払いませんでした。当然子どもはずっと兄を凝視したまま、目的地までそのままでした。私は、無性に腹が立ち、母に小声で「お兄ちゃんなんかいなければいいのに」と言っていました。母はそのときは何も言いませんでした。ただ悲しそうな目をただけでした。帰宅し、母から呼ばれ兄のいない部屋で「あなたが、お兄ちゃんのこと嫌な思いをしていることは謝るわ。お兄ちゃんを嫌いになることは、あなたの感情だから良い悪いは言えないけど、なるべく嫌いになって欲しくないし、なによりもお兄ちゃんの存在自体を否定してはいけない」と言われました。嫌い

になるのは仕方ないけど、その存在を否定してはいけない。簡単なようで、とても難しい言葉でした。私はどうしたらいいのだろうかと考えました。

道徳の時間に教科書を開いたら、そのページにヘレン・ケラーの言葉が載っていました。「人間を変えるものは環境ではなく人間自身の内なる力である」。どんなに嫌いであっても、その存在を否定しないためにはその人の良いところを見つけるようにすればいいのではないかと気がつきました。そして、実行するようにしました。

今では、兄のことは嫌いではありません。きちんと挨拶をし、「お願いします」「ありがとうございます」を言うことは素晴らしいことだと思います。

街では、色々な障害を持った方々を見かけます。私はそのような方々を見て、偏見を持たず、忌み嫌うようなことはしません。人間として生まれた以上、どんな人も同じだと思います。違うのは、障害があるかないかではないでしょうか。障害がないからよくて、障害があるからダメという両極的な考えが支配しているように感じます。障害の有無だけで、人間としての価値までも決めつけてしまうのはおかしいと思いますし、また、それを許す社会もおかしいと思います。

人間はみんな同じです。自分と違うから排除しようとするのではなく、みんなみんな同じ人間だけど、それぞれ違いがあって当然なんだと考えるべきだと思います。そのためには、相手の気持ちに寄り添うことが大切だと思います。人権を尊重することは、とても難しそうな印象を受けます。何をどうすればいいのだろうか悩んでしまいます。どんな人も同じように大切にされ、同じような扱いを受けることではないでしょうか。社会では、バリアフリー化が進んでいます。それはとても大切なことです。でも、目に見えることばかり変えても、みんなの心の中が変わらなければ、ただ形を整えただけで、偏見と差別を助長してしまう結果になると思います。

兄のように一見無力に見えても、その存在から相手を慈しむ心、見返りを求めない愛情の深さ、支えあうことの大切さを引き出してくれます。このことは、人として生を受けた時から備わっているものだと思います。大切にしていきたいと思っています。

(1面からつづく)

## 中学生の人権作文

### ●平成21年度全国中学生人権作文コンテスト 東京都大会

次代を担う中学生に人権尊重への理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的に、東京法務局・東京都人権擁護委員連合会の主催で実施しました。

区内の応募作品(10校・1,023編)の中から、区代表4作品と参加校代表10作品が選ばれました。区代表作品は、東京都大会(265校・35,543編応募)で次の各賞を受賞しています。東京都大会優秀賞の作品と、各賞の方をご紹介します。

#### ◆東京都大会優秀賞

▶「大切なこと」

勝又詩穂さん(四谷中3年)

#### ◆東京都大会作文委員会賞

▶「心のバリアフリー」杉本裕佳子さん(西戸山中1年)

▶「生きる力」大内伸子さん(西早稲田中3年)

▶「私の妹」辛承垣さん(東京韓国学校中等部1年)

#### ◆各校の優秀賞

- ▶「差別がなくなる日まで」富永桃花さん(牛込第一中2年)
- ▶「アイヌの人々に関する問題」立野遥菜さん(牛込第二中2年)
- ▶「心のバリアフリー」高橋亜樹さん(牛込第三中3年)
- ▶「ふれあい」大石弦さん(四谷中3年)
- ▶「輝き続ける社会」白鳥綾佳さん(西早稲田中3年)
- ▶「外国人」麓政人さん(落合中1年)
- ▶「いじめというもの」小島百那さん(新宿中3年)
- ▶「戦争が教えてくれたこと」林秀妍さん(西戸山中3年)
- ▶「互いを認め合って」齊藤杏祐伽さん(西戸山第二中3年)
- ▶「善と悪の意味～人間の存在～」朴聖駿さん(東京韓国学校中等部3年)

### 作文を選考した新宿地区人権擁護委員 選考委員会の講評

日常の中で体験したことを新鮮な視点でとらえ、感じたことやこれからの自分のあり方を素直で感性豊かに表現した作品が多く、深い感動を覚えました。



### 省エネ技術研修セミナー

#### 実践編

●プロから学ぼう！環境

経営に生かす省エネ技術

【日時】12月9日(水)午後2時～5時

【内容】省エネルギーによる地球温暖化防止、経費節減のメリット(常慶隆一・東京都地球温暖化防止活動推進センター技術専門員)。個別相談にも応じます。

【定員】40名

【費用】無料

【会場・申込み】はがき・ファックス・メール(記載例(2面参照)のほか事業所の方は会社名・所在地を記入)で、12月4日(必着)までに環境学習情報センター(〒160・0023 西新宿2-11-4) ☎(3348) 6277・☎(3344) 4434・info@shinjuku-ecocenter.jp

応募者多数の場合は抽選。  
【対象】区内在住・在勤の方、1時～3時

### リサイクル講座

●残り毛糸で

アクセサリー作り

【日時】22年1月17日(日)午後1時～3時

【対象】区内在住・在勤の方、

### ◆講座・催し等の申し込み◆

- ①講座・催し名
  - ②〒・住所
  - ③氏名(ふりがな)
  - ④電話番号
- (往復はがきには、返信用にも住所・氏名)

はがき・ファックスの記載例

※あて先は各記事の申し込み先へ。  
※費用の記載のないものは、原則無料



### 福祉

### 障害者作品展・障害者福祉施設共同バザール

【日時】12月3日(木)午前11時～午後8時(販売は6時まで)、4日(金)午前11時～午後5時

【会場】新宿駅西口広場イベントコーナー  
【内容】障害のある方が製作した絵画・書・写真・手芸小物等の展示、七宝焼アクセサリー・パン・クッキー等の販売、障害・高齢疑似体験、ミニコンサートほか

※ギャラリオーガードみるつく(新宿大ガード下)でも、11月27日(金)～12月24日(木)に作品を展示します。  
【参加団体】福祉作業所・あした作業所・街・ファロほか  
【問合せ】障害者福祉課福祉推進係(本庁舎2階) ☎(5273) 4516へ。

### 介護技術基礎講座

【日時】12月16日(水)・17日(木)午前10時～午後4時、全2日

【会場】東京国際福祉専門学校(新宿1-11-7)

【対象】区内在住・在勤・在学中・2日とも参加できる方(資格・経験は問いません)、40名

【内容】講義と実践「介護技術の基本」(同校専任講師)

【費用】無料

【申込み】電話かファックス(記載例(2面参照)のとおり記入)で、12月10日(木)までに区社会福祉協議会 ☎(5273) 9191・☎(5273) 3082へ。応募者多数の場合は抽選。

### シニアスポーツ

### チャレンジ事業

【期間】22年1月～3月の週1回2時間程度、全12回

【日程・会場】▼東五軒町ことぶき館(東五軒町5-24)：火曜日午前、▼西新宿ことぶき館(西新宿4-8-35)：火曜日午後、▼北新宿第一ことぶき館(北新宿2-3-7)：水曜日午前、▼西落合児童館(西落合1-31-24)：水曜日午後、▼高田馬場第二ことぶき館(高田馬場1-4-17)：木曜日午前、▼北山伏ことぶき館(北山伏町2-17)：木曜日午後

【対象】区内在住の65歳以上で、介護保険の「要介護認定」を受けていない方、各館20名

【内容】個人の身体状況に合わせ、運動・健康相談・レクリエーションなどを組み合わせた運動プログラム

【費用】1回100円  
【申込み】往復はがきに記載例(2面参照)のほか年齢・生年月日・参加ができる会場(複数可、第1希望に○をつける)を記入し、12月4日(必着)までに高齢者サービス課いきがい係(〒160・8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎2階) ☎(5273) 4567へ。はがきは1名につき1枚。応募者多数の場合は抽選。結果は12月10日(木)ころにお知らせします。